

AJSA-TAC藤沢大会 競技説明とルール

1ビギナークラス

競技形式:シングルスラローム 3回トライ(ベストタイムで、勝敗を決する)
(プッシュスタート)

2オープンクラス

競技形式:予選 シングルスラローム 2回トライ(ベストタイム上位8名が決勝進出)
(スタート台使用)

決勝 デュアルレーストーナメント

予選上位8名による勝ち抜き戦で、各試合、それぞれの選手が赤コース、青コースを走り、合計タイムで勝敗を決する。

シングルスラローム(予選・ビギナークラス)

パイロンを1本倒すと、タイムに0.1秒加算され、パイロンの10%以上倒すと失格。
30本パイロンの場合は4本倒すと失格。パイロン数のカウントは四捨五入するので、パイロンが35本の場合は5本倒すと失格となる。

その際にパイロンに接触しパイロンをずらした場合、マーキングサークルからパイロンがはみ出していたら、パイロンが倒れていなくても、倒れたものと見なす。(図1)
また、パイロンをとばしたり(不通過)、転倒した場合は、コースアウトとしてその時点で失格となる。

図1



デュアルスラローム(オープンクラス決勝)

パイロンを倒した際のペナルティはシングルスラロームと同じ。

隣を滑走している選手が倒したパイロンが飛んできて、自分のコースのパイロンを倒した場合は元に戻す。
自分が倒してしまったパイロンが飛んで、自分のコースのパイロンを倒した場合はそれもカウントする。

フライング(スタートシグナル前にスタートしてしまう事)は、2回で失格となる

各試合の1レース目に、どちらか一方の選手が失格してしまった場合(パイロン規定数以上倒したりコースアウトした場合等)失格してしまった選手には2レース目に0.5秒のハンデが加算される。

1レース目に失格してしまった場合は、2レース目で相手選手より0.5秒以上速く走れば 勝ち、というわけです。

1レース目で双方の選手が失格してしまった場合は、2レース目の結果で勝敗を決する。

1レース、2レース共に双方の選手が失格した場合は、再レースをおこなう。

2レース目で失格してしまった場合はその時点で相手の勝ちとなる。